

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17154
課題名	心臓大血管手術における循環動態と酸素化の検討
研究期間	平成 29 年 11 月 24 日 ～ 平成 34 年 3 月 31 日
研究の対象	研究期間に当院で低侵襲心臓手術を施行する患者。術前から著しい心機能低下を認めるものは除外する。
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：性別・年齢・BMI・ASA・現病歴・既往歴・手術歴・麻酔方法・術中のバイタルサイン・麻酔時間・手術時間・輸血量、Hb、SpO2、rSO2、PreSep CV オキシメトリーカテーテル・Flotrac・クリアサイトシステム・パルスCO オキシメータ Radical-7・Volume View カテーテル各検査項目、レザースッペクルフローグラフィーを用いた眼底血流計測、経食道心エコー各検査項目。また、動脈血採血の際の残余検体を用いて動脈血ガス分析を行う。 ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☒ 血液 ☐ その他（ ）
研究の意義、目的	心臓大血管手術では人工心肺を用いる為、周術期の脳神経合併症が数パーセント程度の確率で起きると報告されております。そこで、手術中に低侵襲な循環モニター(血圧や心臓の働きを調べるもの)を用いて血液が全身に行き渡っているかを調べます。また、脳神経モニターを使って脳に血液と酸素が行き渡っていることを確認します。今回の研究で、全身と脳にどれだけ酸素化された血液が流れているかを調べ、術後の合併症を減らせるように適切な治療を行います。
研究の方法	対象患者に対して、低侵襲循環モニターと脳神経モニターを装着します。これらのモニターはプローブを貼り付けるのみ、もしくは、手術と麻酔に必要なカテーテルから得られる情報なので、患者さんに不利益はありません。これらのモニターから得られたデータを解析して、全身と脳に酸素化された血液が行き渡っていることを調べます。これらの計測を手術中に何度か行い、その値の妥当性、診断、治療への有効性を検討する。また、それらのデータと術後の脳神経合併症の関連を調べます。
その他	本研究に団体・企業は関与しません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはあ

りません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

所属：旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座

研究責任者：神田 浩嗣

電話番号：0166-68-2583